益永　鉄平

高４５期

登美丘高校教員

100周年に向けて

　母校に勤めて13年目となり、今は首席という立場でお仕事させてもらっています。学校運営をサポートする立場となり、学校の歴史や伝統と現在の社会や地域の実情や期待などを踏まえて、目指すべき高校に向けて全職員で取り組んでおります。生徒との関わりは少なくなりましたが、もちろん、本業の授業や部活動との関わりを大事にしながら（成長を楽しみながら）日々の職務に就いております。大人になって「今の子は・・・」と思う場面があるとは思いますが、生徒はその場、その時代で彼らなりに一生懸命生きております。それを支援していくことが今の私の仕事であり、「教え育てる」上での大事にしているポリシーでもあります。あと思うことは、来る生徒の保護者が同級生だったりしますので、嬉しい気持ちになります。
生徒が過ごす学校生活は、当時と変わらず日々穏やかな空気が流れており、放課後には体育館、グラウンド、廊下で一生懸命頑張る部活動の姿もあり、雰囲気は昔も今も大きくは変わっていません。ただ当時の高校時代と今の高校生を比べると、きっとすることが多く、日々忙しくしている印象をもちますが、人の温かさややさしさは変わることなく、勉学に行事に部活動に一生懸命頑張る姿がこの登美丘高校の良さだと感じております。また、コロナ禍で学校行事等に制限がかけられても、生徒たちはめげずに、できることを考え、できることをひたむきに頑張っております。
　そんな登美丘も2023年には創立100周年を迎えます。同窓会をはじめ、PTA の協力のもと、準備に取り掛かっております。生徒と同様、コロナ禍でもできることを考え、ひたむきに準備を進めてまいりますので、また会員のみなさまの益々のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■プロフィール

1978　年 10 月 30 日　生
1997　年　3 月　登美丘高校卒業
1997　年　4 月　大阪体育大学　体育学部　入学
2001　年　3 月　大阪体育大学　体育学部　卒業
2010　年　4 月　大阪府立登美丘高等学校　教諭として赴任